

総会資料  
うべ交通まちづくり市民会議 2013 年度活動報告

事業の名称	車道の自転車市民権作戦（きらめき財団補助事業）	
事業目的 （背景）	第4回自転車まちづくりシンポジウムでは、「歩行者・自転車・車のフェアな道路空間の共存に向けて」をテーマに、先進事例に学び、異なる立場の市民が話し合い、ルール啓発、走行空間改善の大切さを理解する。	
実施状況	実施期間	平成 25 年 5 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日 ◆主要なイベント等の日時 自転車まちづくりシンポジウム 平成 26 年 3 月 8 日（土）13：30～16：30
	場所	ヒストリア宇部交流ホール：宇部市新天町 1-1-1
	実施対象範囲	宇部市民、周辺地域市民、自治体関係者
	参加人数	◆スタッフ等 5 人 ◆参加者 33 人
	広報の方法	ちらし配布、宇部日報掲載（市民活動欄）、団体 HP、facebook、会員・関連団体 ML
事業の内容	<p>① 活動</p> <p>1) 2013 年 7 月 7 日（日）：ごきげん未来フェスタ（宇部市ときわ公園）に出展、「自転車ルール啓発と利用促進」、宇部志立市民大学環境学部OB会と協力。</p> <p>2) <b>2013 年 8 月 1 日（木）：小路泰広氏（広島高速道路公社理事・元宇都宮国道事務所長）を招き自転車走行空間について情報交換会。</b>宇部市役所にて行政関係者とうべこまち幹事ら 16 名参加。自転車試走、市民自転車まちづくりセミナー（13 名参加）。宇都宮では青い矢羽根の自転車通行位置明示、国道・市道の交差点内にも矢羽根を直進、交差させた。</p> <p>3) 2013 年 10 月 宇部市の自転車ネットワーク検討および道路試走</p> <p>4) <b>2013 年 11 月 22 日（金） ふるさと元気懇談会（宇部市長と市民団体の懇談）に参加。</b>快適な自転車利用環境に向けて自転車ネットワーク作成を提案。子育て団体と交流。</p> <p>5) 2014 年 2 月 22 日： UNCCA 主催、「自転車にやさしい地域づくりセミナー」共催。</p> <p>6) 2014 年 1 月～2 月 自転車まちづくりシンポジウムの企画、高等学校や子育てサロンでのヒアリング実施、登壇者との協議、資料準備</p> <p>7) 2014 年 3 月、宇部市内の中学 3 年生（15 校、1606 人）に、「自転車を楽しく安全に利用するためのハンドブック」を送呈した。（宇部日報、2014. 03. 05 付け）</p>	



## 8) 2014年3月8日(土)第4回自転車まちづくりシンポジウム in UBE を開催。

参加者 38 名。

### ○三国成子さん(地球の友・金沢)の基調講演

「今なぜ自転車のことを考えるのか? 自転車とまちづくり 金沢の事例から」添付の宇部日報 (2014.03.10 付け) 参照。

### ○パネルディスカッション登壇者

- ・子育てからみた歩道: 藤永真輝子さん(うべこまち会員・建築士) 子育てサークル(福祉会館)でのアンケートをもとに、ベビーカーを押す体験を交えて。歩道通行の自転車が危険で、自転車レーン等、車道への整備希望。
- ・高校生から: 児玉芙美花さん(宇部高等学校生徒会総務役員・書記)、田中沙季さん(宇部高等学校・生徒交通委員会委員長) 道路の片側しか歩道が無く、ブロック縁石が無いので、やむなく右側を通る。通学路の自転車通行場所が狭く危険。駐車場から出る車は自転車を見ておらず、出会い頭の危険を感じる。生徒会交通委員会で立哨して、施錠、イヤホン等、ルール違反を注意している。
- ・地域の立場・高齢化の中で: 福田幸三さん(神原校区連合自治会会長・宇部市自治会連合会会長) 自治会は高齢化の問題。車の利便性を一度味わうと脱くるま出来ず、自転車に乗る人が未だ少ない。R190号の抜け道に信号の少ない生活道路を使い、事故が危険。街中では30km規制を拡げてほしい。
- ・自転車市民: 金田 充さん(うべこまち幹事) 自転車競技の審判と自転車整備士の資格。事故の際、ヘルメットのおかげで命が助かった。自転車が車道に出るには、整備、空気圧、サドルの高さが重要。車道の自転車レーンや矢羽根でネットワーク整備希望。
- ・コメント・三国成子講師: 電動アシスト自転車も普及し、高齢者は早めに車を手放す方が安心できる。自転車がまちづくりに貢献。高校の近くで、車道に自転車マークを描き、路上指導(地域住民、警察)で乗り方が浸透する。
- ・司会: 村上ひとみ(山口大学准教授・うべこまち副会長): 自転車を利用すれば、サイクル&ライドで宇部線やバスの利用も便利になる。車道に自転車レーンを整備すれば、車両運転者にも、自転車が車道を通ると周知できる。歩道の安全・安心が増すことで、街のにぎわいにつながり、もっと歩けば高齢者も元気になる。そういうビジョンのまちづくりを宇部で進めたい。



## ② 幹事会(拡大)

2013年: 4/9, 5/17, 6/26 総会, 7/18, 8/1, 8/20, 9/11, 10/2, 10/21, 10/27(自転車路上調査), 11/6, 12/2

2014年: 1/15, 2/4, 2/26, 3/24

- ・宇部市道路河川管理課・同道路河川建設課・宇部警察署とも走行空間の整備、ルール啓発について、意見交換。シンポジウムにも参加頂いた。
- ・HPから情報発信 <http://www.ubekomachi.net/>

## 事業を行ったことで得られた成果

- ・異なる立場の道路空間利用者（子育て世代、高齢者が増える地域リーダー、高校生、自転車利用市民等）が道路の問題点を指摘し、車道に自転車空間を整備すること、住宅街のゾーン30 推進、歩道の安全を高める大切さを話し合った。フロアの参加者からも活発な質疑応答があり、県内での先進的な自転車まちづくりに向けた市民と行政、学校等の支援共同体制につながる成果があった。
- ・地球の友・金沢がヨーロッパの自転車交通政策に驚き、10 年余り、地道に続けてきた自転車空間の安全に関する小学生とのワークショップや高校生との自転車マップ作り、行政の自転車指導帯の整備と連携しての街頭指導により自転車事故が減るなど、その効果は大きく、参加者が深く学び、宇部日報記事を通して、広く市民や行政に伝えることができた。

### ◎公共交通の改善について【きらめき財団助成以外の活動】

- ・宇部市の公共交通のあり方検討協議会に委員として参加(高橋会長)
- ・宇部市低炭素まちづくり協議会に委員として参加（～2015年3月、高橋会長）
- ・宇部市地球温暖化対策ネットワーク(UNCCA)主催の宇部スマート通勤協議会に参加協力
- ・NPO法人うべ環境コミュニティ主催の環境サロン「環境のまちづくり～市民共同発電」、「環境のまちづくり～中心市街地の活性化」の運営に協力

2014.06.04 修正版 文責：村上ひとみ